

高い技術力で日本のガラス加工を支える老舗企業

旭平硝子加工株式会社

代表取締役社長 高山太治 1924(大正13)年創業
 TEL : 045-501-6576 FAX : 045-500-4501
 横浜市鶴見区中央3-20-9鶴見大栄ビル1F
 URL : <http://www.kyokuhei.co.jp/>
 ・ISO14001認証 2004(平成16)年



? 旭平硝子加工株式会社、どんな会社?

1924(大正13)年、鶴見区に合資会社「平林硝子加工所」として創立し、旭硝子株式会社の協力工場として板硝子の摺り加工を始めました(1959(昭和24)年「旭平硝子加工株式会社」に社名を変更)。以来、長年にわたって旭硝子社から板硝子製品の特殊加工を受託しています。近年は、山形県米沢市の^{すちもやま}李山事業所、神奈川県愛甲郡の愛川工場といった拠点を活用し、長年培ってきたガラス精密加工技術をベースに、建材や自動車、スマートフォン、パソコンなどに用いられる特殊ガラスの加工や、精密・高品質なガラス搬送ケースの製造販売・洗浄管理、物流支援サービスなど、幅広く手掛けています。

新たなニーズの開拓

近年、新規事業を開拓する部門を別会社(株式会社DRS)として独立させ、マーケットの生の声を積極的に収集し、新たなニーズを開拓しているそうです。高山太治社長は、常に変化をキャッチアップするために、能動的な活動をしていきたいとおっしゃっていました。今までの取引先とは異なるタイプの会社を積極的に訪れるなど、小回りを利かせて情報収集しているそうです。スマートフォンやタブレット端末用のカバーガラスや周辺部材の開発では、特殊印刷を入れて提供したり、縁の部分がカーブになっていてフィットするスマートフォン用の3Dカバーを開発したりと、顧客の要望に合わせた様々な商品を開発・提案し、挑戦し続けています。



スマートフォン・タブレット用のカバーガラス・周辺部材

会社の理念、社長の思い

老舗企業として続く経営の秘訣は、代々伝わる「信頼、信義、信用」という哲学にあるそうです。この哲学を大事にしてきたことで、様々なパートナーと良好な関係が続き、それが長く安定した経営に繋がっているそうです。

「90年以上続いてきた会社を後世に繋げていきたい」、「パートナーやお客様、従業員みんなから『いい会社』と言われたい」、という二つの想いも、高山社長が入社当時から貫いていることで、従業員にも徹底されています。この想いをかなえるため、「可視化」「共有化」「共通化」を重視しているそうです。150名の従業員がそれぞれ得てきた情報は、全員に共有化する仕組みにしており、会社の強みを「武器化」にして従業員がハンズオン(自らが携わる)することに注力しているそうです。



お話を伺った5代目 高山太治社長

高山社長と商科大学学生記者

高山社長の目標

お客様から「選んでよかった」、従業員から「働いてよかった」、パートナーから「信頼のおける会社」、「携わってよかった」、と思っていただけのような会社にすることが、高山社長の目標だそうです。また、社内のコンディション(業務量等)を大変大事にしているそうで、「会社を大きくすることに目を向けすぎず、身の丈も考えてコントロールしていきたい。外部に目を向けすぎて内部のコンディションが崩れてしまっは元も子もないから、バランスをとりたい。」とおっしゃっていました。



取材 Memo

「信頼、信義、信用」をまさに体現している誠実な会社だと感じました。BtoBの会社なのであまり一般には知られていませんが、多くの方に知っていただきたいです。非常にパワフルな会社でした!

取材担当: 商科大・久保